

シュプランガー関係書の廉価譲渡について

2014年11月5日 岩間教育科学文化研究所 岩間浩

本書2冊の発行によって、一つの区切りが出来たこの機会に、筆者が収集したシュプランガー関連書などを、廉価でお分けしようと思立ちました。以下にその書のリストを掲載します。関心ある方は遠慮なく、筆者あてにご連絡ください。連絡先は以下の通りです。

連絡関連：〒167-0041 東京都杉並区善福寺 1-26-9 岩間教育科学文化研究所 岩間浩

Tel・ fax : 03-3397-2010 E-mail: hiroshi006iwama@gmail.com

銀行口座番：岩間教育科学文化研究所

三菱東京UFJ銀行西荻窪支店 (普) 0067300

ドイツ語書籍及び日本語書籍 (1冊1,000円) (送料：着払い)

※シュプランガーら編集の教育学雑誌 *Die Erziehung* Band 1 (1925/25) ~Band 17 (1941/42) 全17巻

※シュプランガーら編集のペスタロッチ批判版: *Pestalozzi Sämtliche Werke* 1. Band ~ 22.

※Bosshart, Dejung, Kempter, Stettbacher によるペスタロッチ全集 (*Johann Heinrich Pestalozzi Sämtliche Werke in zehen Bänden*) 17巻

※長田新編『ペスタロッチ—全集』全13巻 (平凡社)

※長田新著『ペスタロッチ—傳』上巻・下巻 (岩波書店)

※*Eduard Spranger Gesammerte Schriften* (Quelle & Meyer Heidelberg) 1~11 (一部に線の書き込みあり)

※E. Spranger. *Lebensformen*. 3 Auflage (1922) 9 Auflage (1966)

※E. Spranger. *Types of Men*. A英訳版 (1928年)

※E. Spranger. *Pshyologie des Jugendalters*. 18 Auflage (1925) 28 Aufl. 1966.

※E. Spranger. *Wilhelm von Humboldt und die Humanitatsidee*. 1909

※E. Spranger. *Wilhelm von Humboldt und die Reform des Bildungswesens*. 3 Aufl. 1965.

※E. Spranger. *Kultur und Erziehung*. 4 Aufl. 1928.

※E. Spranger. *Die Magie der Seele*. 1 Aufl. 1947.

※Hans Wenke (herausgegeben). *Eduard Spranger Bildnis eines geistigen Menschen unzerer Zeit*. 1957.

※Walter Bähr und Hans Wenke. *Eduard Spranger • Sein Werk und sein Leben*. 1964.

※シュプランガー著 (岩間浩訳) 『小学校の固有精神』 (付「郷土科の陶冶価値」) 1992
ほか多数

注文締め切り：2014年12月末日 (確認のための前もっての書齋見学歓迎)

エドゥアルト・シュプランガー著『教育における意図せざる副次作用の法則』について

シュプランガー (E. Spranger, 1882-1963) は、第一次・第二次世界大戦・戦後を通じてドイツの代表的な教育学者、哲学者、心理学者であり、日本の学会及び読書界に大きな影響を与えた。その彼が最晩年の 1962 年に著わしたのがこの書である。

このなぞに満ちたタイトルの書で、一体シュプランガーは何を述べたかったのであろうか。

自然現象の中で予期しない現象が日常的に起こっているように、教育という人間関係の領域において、予期しない現象があたかもそれ自体が法則のように生起していることに、シュプランガーは深い関心を払い、その解明に向けて努力を傾注したのが本書の趣旨である。

教育現場において、我々は、一定の目的と計画を携えて臨むのであるが、児童、生徒や学生の状況によって、思わぬ変更を余儀なくされる。のみならず、教師の語った一言が良かれ悪しかれ、全く予想もしない影響を被教育者に与えることがあることを、痛感している。そこにかえって教育の妙味があるのではないか。

一方、あまりにきちんと計画された授業や講義が生命を失い、硬直化し、空回りになったり、独り善がりになったりすることも、我々は経験している。実は、こういう現象に教育の本質とも言うべきものが存在しているのではないかとして、これに教育における「意図せざる副次作用の法則」と名づけて、シュプランガーはこの現象の意味を解明しようとしたのが本書なのである。

岩間浩著『シュプランガー断章』について

シュプランガーに直接ベルリン大学で師事した人物へのインタビュー、及びさまざまな回顧録や文献によって、シュプランガーと日本人の出会いとその影響について記したのが本書の核となっている。これによって、1920年代から1960年代初頭に至るまで、シュプランガーの1936-7年における日本滞在を中心に、シュプランガーと日本の哲学、教育学界との結びつきは、単に学問的なレベルのみならず、彼の人格的側面においても、強く密なものがあつたことが浮き彫りにされる。このようなことは、この当時としては、極めて珍しいことであつた。きわめつきは、シュプランガーが監獄に収容され、悲惨な死を迎えかねない事態に当つて、シュプランガー夫人と共に日本の留学生たちが力を結集して、大島大使を動かし、ドイツの当局を動かし、シュプランガーの救援に当たつたことは、一段とシュプランガーと日本との結びつきを固くした。また、シュプランガーの主著を初め、戦後の著作も多くが日本語に翻訳されている。現在、シュプランガー逝去後、50年間以上の時を経て、彼の影響力は失われたかに見えるが、彼の思想にしても、人柄にしても、かつて日本の思想界、教育界に刻まれた記憶は、われわれの意識の底流に流れ続けるに違いない。

内容

エドゥアルト・シュプラランガー著『教育における意図せざる副次作用の法則』

付論：「教育学の学問的性格について」

(付編：岩間浩訳「シュプラランガーの人文主義と青年心理学」について)

翻訳企画・編集：岩間浩 翻訳協力：村田昇・新井保幸・長島啓記・

(故) 武居泰男

発行：岩間教育科学文化研究所 制作：オリオン出版 2014年11月3日 頒価：1,200円

第一部

- I：法則のもつ限界について
- II：暫定的な事例に即しての説明
 - A：生命のない物質領域からの事例
 - B：有機体の領域からの事例
 - C：人間の社会生活からの事例
- III：教育領域への予備的考察
- IV：教育上の二つの基本的事例
- V：教育の法則と基本様式

孤島の(隔離的)様式と世間接近の様式
自由な様式と拘束の様式
発達を見越す様式と発達に即応する様式
画一的様式と個性に応ずる様式

第二部

- VI：人間の固有法則性
- VII：変化する法則
- VIII：教育者への反作用
- IX：究極的思考
- 付論：教育学の学問的性格について

付編：岩間浩訳編：シュプラランガーの『人文主義と青年心理学』について

姉妹版B：

岩間浩著『シュプラランガー断章』

発行：岩間教育科学文化研究所 制作：オリオン出版 2014年11月3日 頒価：1,000円

- I：シュプラランガー史跡巡礼記
 - シュプラランガーとわたし
 - テュービンゲンを訪ねて
 - ベルリンにて
- II：シュプラランガー断章
 - 幼少期(ベルリン子として育つ) 思春期(音楽と宗教の世界に触れて)
 - ベルリン大学学生・研究性時代
 - シュプラランガーと日本
 - A：1920年代 B：1930年代 C：1940(含1950年代) D：1960年代

III(論文)：範例教授法における「基礎的なもの」—E.シュプラランガーの基礎陶冶論の研究—

1. 範例教授法とシュプラランガー
2. “基礎的なもの”の意味
3. 人間形成を目指す範例方式